

株式会社長尾木鋼

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024年4月11日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社長尾木鋼（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

## 目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社長尾木鋼の企業概要.....	1
(2) 株式会社長尾木鋼の事業概要.....	3
(3) 経営理念.....	6
(4) サステナビリティ.....	7
2. インパクトの特定.....	8
(1) バリューチェーン分析.....	8
(2) インパクトマッピング.....	8
(3) インパクトレーダーによるマッピング.....	9
(4) 特定したインパクト.....	12
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認.....	14
3. インパクトの評価.....	16
4. モニタリング.....	19
(1) 株式会社長尾木鋼におけるインパクトの管理体制.....	19
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング.....	19

---

## 1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

### (1) 株式会社長尾木鋼の企業概要

企業名	株式会社長尾木鋼
創業	1948年10月
設立	1974年1月10日
代表者名	代表取締役会長 長尾春水 代表取締役社長 長尾英二
資本金	5,000万円
従業員	69人(2023年10月時点)
売上高	19億円(2023年5月期)
事業拠点	本社 愛知県北名古屋市九之坪鴨田107番地
事業内容	アルミサッシの製造販売及び施工業務 エクステリア及び外構工事 上記に付帯する一切の業務



※現在建設中の新工場イメージ画像

## &lt;沿革&gt;

1948年10月	木工建具の製造・取付け業として個人創業
1973年1月	名古屋市西区に移転 アルミサッシ工事へ事業転換
1974年1月	株式会社長尾木鋼 設立
1991年9月	第二工場完成、機械設備を大幅更新、製造部門を強化
1992年1月	住友林業株式会社と業務提携、資本参加を受ける
1998年2月	ノビス製法（フラッシュドア）特許取得（特許第3046974号）
1999年12月	枠体における2芯材の接合構造 特許取得（特許第3546402号）
2000年8月	現所在地に工場を統合移転
2001年3月	現所在地に事務所移転
2001年7月	防音丁番の特許取得（特許第3747406号）
2006年2月	東京営業所を開設
2007年9月	ベトナム人技能実習生受け入れ開始
2010年12月	現住所に本社移転
2012年8月	中国人技能実習生受け入れ開始
2012年10月	工事管理システム 特許取得（特許第5108731号）
2014年8月	防犯網戸（ソリッドフロー）特許取得（特許第6051181号、6051182号）
2015年8月	長尾春水氏 代表取締役会長就任 長尾英二氏 代表取締役社長就任

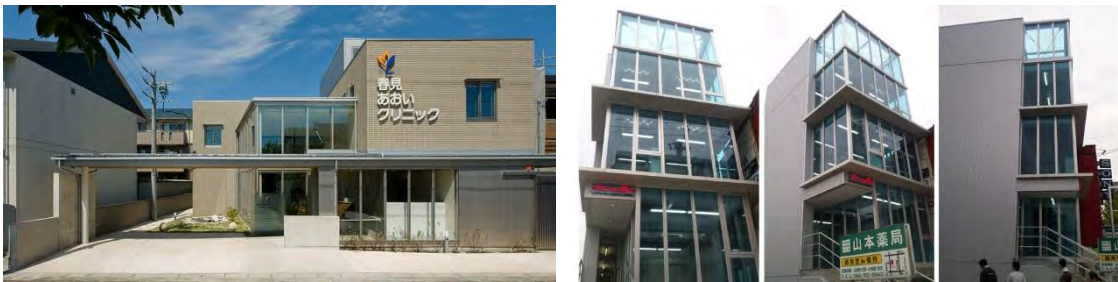
(2) 株式会社長尾木鋼の事業概要

同社は、アルミサッシの総合メーカーとして、設計・製造から販売・施工まで一貫して取り扱う。また、特許取得済みのオリジナル製品も取り扱う。

主な取扱製品は以下の通り。

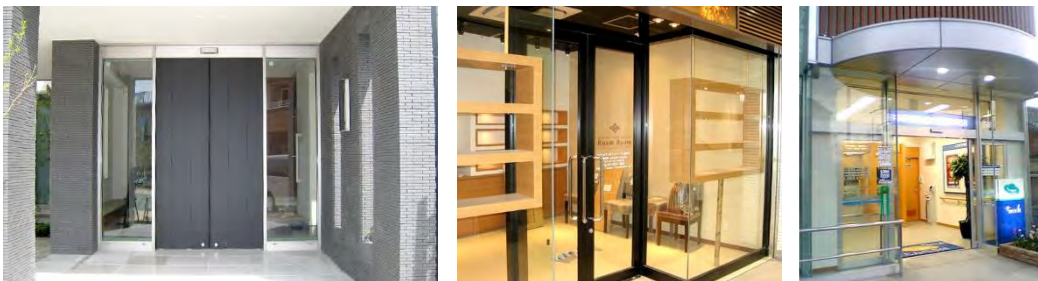
①ビルサッシ

商業ビル等において施工されるサッシ。外装と内装との接合部分であり、採光や空気の流れ、人の出入りなどを調整する機能を持ち、ビル全体のイメージを作り上げるもので、商業空間・文化空間の表情を高い意匠性と精度によって造り出す。



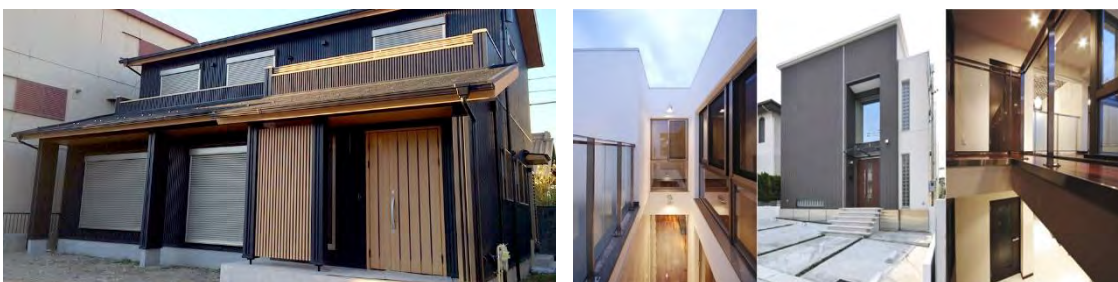
②フロントサッシ

建物のエントランスや、風除室、ショーウィンドウなどに取り付けるサッシ。建物の顔としての役割を持つ。



③住宅サッシ

住宅の窓・ドア等に取り付けられるサッシ。個々の住宅ならではの意匠に合わせる他、快適な住環境を実現するための機能（スムーズな動き、快適な室温の維持、結露の減少、騒音カット、そして省エネルギーなど）が求められる。



#### ④フラッシュドア

同社オリジナル製品のひとつであるアルミドア製品。同社はビスを使わないノンビス製法で特許を取得している。

木製の芯に対してビス止めをする従来のドアと異なり、オールアルミ製であり、ビスを使用せず溶接とすることで高強度を実現している。また、内部構造にハニカム材を使用することで、アルミの強度を上げるとともに、2重構造とすることで防犯効果もある。製造工程の違いから短納期を実現している他、様々な形状・デザインに対応可能である。その他、防水、防音、断熱、不燃など優れた性能を持つ。

特許については現在期限切れとなっているものの、実績や技術力から同社のオリジナル性は保たれており、受注は変わらず継続している。



#### ⑤ソリッドフロー

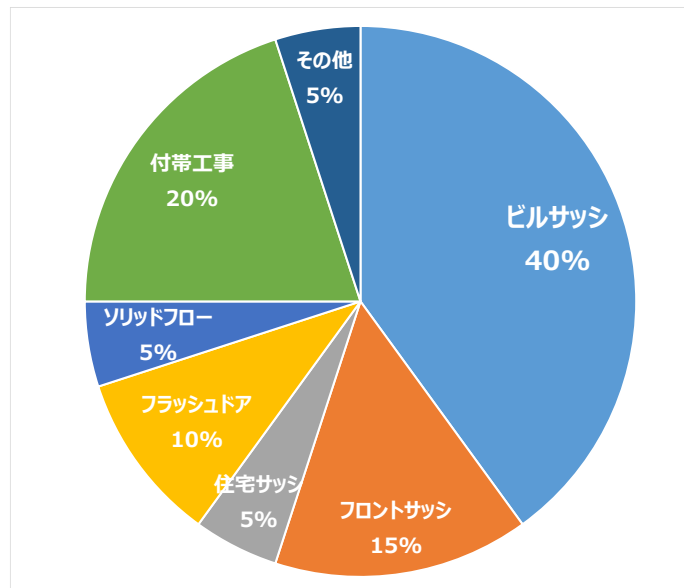
同社オリジナル製品のひとつである、高強度のステンレスワイヤーを用いた破れない網戸。

ナイフによる攻撃テストや海風による腐食テストをクリアする極めて頑丈な性能を持つ他、網戸自体にも鍵を掛けられる仕様のため、防犯性に優れている。また、防犯性の向上に伴い網戸の状態でも生活する時間を増やし、家の通気性を保つことができ、環境性能にも優れている。加えて、破られる心配がないことから、子供やペットのいる環境で重宝される。したがって、住宅だけでなく、学校や保育園などの施設でも需要は高い。

特許取得済みであり、過去様々なメディアで取り上げられたことのあるオリジナル性の高い製品である。



【概算売上構成】



※付帯工事とは、サッシ等の取付工事や運送にかかる売上を指す。

【同社の強み】

- ・設計から製造、販売、施工に至るまで一貫して取り扱うことができるため、柔軟な対応が可能。規格外のサイズにも対応するなど顧客に合わせた製品提供ができており、評価は高い。
- ・同業のサッシ業者の多くは販売のみを取り扱っており、自社工場を有する同社は独自性が高い。同社の販売先には同業者も多い。
- ・また、施工まで取り扱うことでエンドユーザーとの接点を持ち、直接顧客ニーズの把握をすることができる。
- ・同社は技術開発に熱心であり、上記フラッシュドアやソリッドフローなどオリジナル製品の特許を多数有している。類似のものや期限切れのものも含めると、15件の特許を有しており、業界内での優位性を維持している。
- ・多品種の注文を受けていることから、技術者が多能工化しており、幅広い需要に応えることができる。
- ・資本関係のある住友林業やアルミ建材大手である三協立山などの取引関係が確立されており、安定して幅広い仕事を受注できる環境にある。

【今後の展開】

- ・現在、本社隣地に新工場を建設中。今年中に竣工予定であり、生産性や安全性を高めた工場が新設される。
- ・ソリッドフローについて、同社のオリジナル製品として更なる拡販を行っていく。単純な費用面から販売に結び付かないケースもあり、製品の性能や耐久性などの製品価値をエンドユーザーへ周知していく必要があるが、広報面・営業面で大手業者と手を組むことで拡販を目指していく。



### (3) 経営理念

同社は、以下の経営理念を掲げて事業活動に取り組んでいる。

#### 経営理念

##### 「共栄」

共栄は心です

お客様との出会いを大切にして誠実さと実行力で信頼され

その蓄積が会社の信用となりお客様と共に繁栄を目指します

##### 「共創」

共創は技です

プロの技術集団として勉強を続け常に創意工夫を怠らず

世に求められる製品を提供できるよう挑戦を続けてゆきます

##### 「共働」

共働は体です

常に元気で前向きに感謝の心を大切にして社員一人一人が不断の努力を続け

一致団結して強い力となるようにたゆまない成長をめざします

この経営理念は、同社が大きく成長した約 20 年前に定められた。心技体の三要素がすべて整うことで、はじめて最大限の力が発揮できることを基に、同社事業に当てはめて考えられている。

また、同社の目的を「快適な住環境の創造」とし、「より迅速に」・「より正確に」をモットーに、幅広いニーズに応えられるよう、以下のようなキーワードを掲げて挑戦を続けている。

#### 信用と信頼

顧客の期待を上まわる商品の提供を目指し、努力することで信頼と信用を勝ち取っていく。

#### 安心と満足

製造・販売・施工の全ての業務を一貫して受注することで顧客に「より迅速に」、「より確実に」商品を届け、顧客の安心と満足を実現していく。

#### さらなる飛躍

より多くの顧客のニーズに応えられる「住宅環境の創造企業」として更なる飛躍を目指している。

#### (4) サステナビリティ

同社はサステナビリティに貢献する取り組みとして、環境、雇用、地域貢献の各分野で以下のような具体的な取り組みを進めている。

##### ①環境

- ・使用する材料の大半はアルミであり、産業廃棄物は少なく、端材などはすべてリサイクルしている。リフォーム案件などで発生した古い資材は、持ち帰って分解し、リサイクル可能な状態にしている。
- ・同社オリジナル商品であるソリッドフローには、環境面で寄与する性能を持つ。防犯性の高い網戸によって窓を開けている時間を長くすることができるため、エアコン等の空調機器使用を削減できる。また、極めて丈夫であり、通常の網戸のように破損に伴う交換の必要もないため、資源の無駄を削減できている。
- ・現在建設中の工場には太陽光パネルを設置予定であり、エネルギー使用の効率化も目指していく。

##### ②雇用

- ・69名の従業員のうち、15名が女性、18名が外国人と、ダイバーシティ雇用が実現している。
- ・女性社員の一部はフルリモート勤務であり、個人の状況に合わせた柔軟な勤務形態を実現している。
- ・外国人は主にベトナム人技能実習生であるが、新入社員並みの給与水準を保证する他、自動車免許の取得補助を行うなど、働きやすい環境整備に努めている。
- ・定期的に外部講師を招いた研修や講習会を実施し、社員教育にも努めている他、「すべての人に健康と福祉を」との理念の下、スポーツジムの法人会員として健康診断の結果が芳しくない従業員にジム費用を補助することで健康促進を図っている。

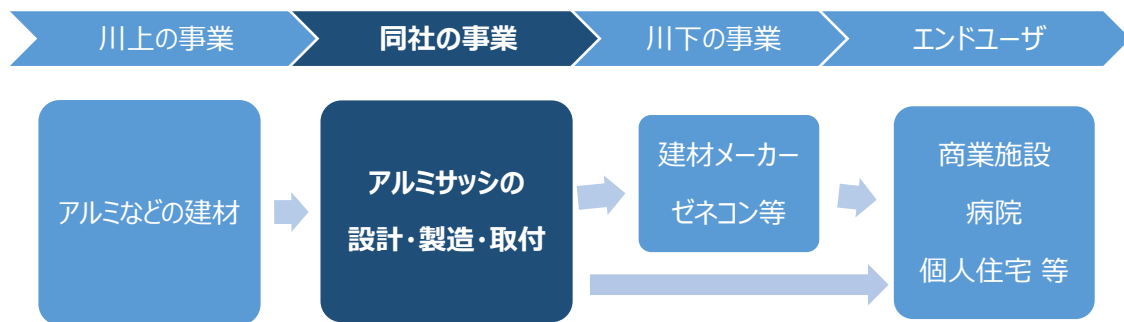
##### ③地域貢献

- ・地域イベントには積極的に参画している。イベントスポンサーからブース出展、職業体験の協力などを行っている。
- ・また、北名古屋市の市政10周年には寄付を行い、感謝状が授与されている。

## 2. インパクトの特定

### (1) バリューチェーン分析

- 同社は、アルミ製建具の製造販売、取付業務を主としている。アルミなどの建材を仕入れ、同社が製造から取り付けまで一貫して対応している。エリアは東海地方が中心であるが、関東地方の顧客も有する。
- 売上は、大型商業施設や店舗のエントランスに使用されるビルサッシやフロントサッシが売上の約 6 割を占め、個人住宅向けのサッシや、オリジナル製品「フラッシュドア」、「ソリッドフロー」の売上が約 2 割となっている。
- 以上を踏まえた同社のバリューチェーンは以下の通りである。



### (2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施し、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」(以下 PI ) と「ネガティブインパクト」(以下 NI ) を想定する。
- 同社の事業として「構造用金属製品製造業 (国際標準産業分類 2511) 」を取り上げる。
- 川上の事業として「建築用木材及び建具製造業 (同 1622) 」, 「第一次貴金属・その他非鉄金属製造業 (同 2420) 」を取り上げる。
- 川下の企業として「建築工事業 (同 4100) 」を取り上げる。

### (3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン	川上				同社		川下	
	建築用木材及び建具製造業 (1622)		第一次貴金属・その他非鉄金属製造業 (2420)		構造用金属製品製造業 (2511)		建築工事業 (4100)	
インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水								
食料								
住居	●						●●	
健康・衛生							●	●
教育								
雇用	●	●	●	●	●	●	●	●
エネルギー							●	●
移動手段								
情報			●					
文化・伝統								●
人格と人の安全保障								●
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		●		●		●		●
大気		●		●		●		●
土壌				●●				●
生物多様性と生態系サービス								●
資源効率・安全性		●		●●		●		●
気候		●		●		●		●●
廃棄物		●		●		●		●●
包括的で健全な経済	●		●		●		●	
経済収束							●	

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上、同社、川下の事業について、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。  
 なお、川上の事業については、同社が与える影響は限定的であるため、インパクトを特定しない。

## 同社の事業

### (i) 「教育」・「雇用」

- 同社は、外国人労働者（特定技能、技能実習生）に対して、自動車免許の取得費用の負担や、新卒並みの給与を支給するなど、手厚い雇用体系となっている。
- また、設計に携わる女性社員が数名在籍しており、リモートワークを認めるなど、働きやすい環境を整備している。今後は管理職への登用も検討していく方針であり、PI 拡大に寄与している。
- また、労働災害への対策として、定期的な研修の実施や、健康診断受診の必須化、ジムなどの健康施設利用料の負担などを行っている。
- さらに、現在建設中の新工場は、工場の屋根に設置した太陽光発電で電力を賄う冷暖房設備を完備し、更に安全性を高めた設備を導入する予定であり、これらの取り組みは NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 4.4：技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる
  - 5.5：あらゆるレベルにおいて女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する
  - 8.5：すべての男性及び女性の完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事に従事する

### (ii) 「気候」・「廃棄物」

- 同社は、先述の新工場へ「太陽光パネル」の設置、事業所の LED 化、製造過程において発生するアルミくずや、建設工事で回収するアルミ材のサイクル引き取りを積極的に進めることで NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する
  - 13.2：気候変動対策を戦略及び計画に盛り込む

### (iii) 「包括的で健全な経済」

- 同社は、多品種少量生産に対応できるよう、技術者が多能工化しており、幅広い需要に応えられる。
- また、アルミ建材大手と取引関係が確立されており、安定して良質なアルミ建材を仕入れることができ、高品質な製品を安定供給することで、サプライチェーンの安定に繋がるという PI 拡大に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 9.1：経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する

### (iv) 評価対象外のカテゴリ

- 「水（質）」、「大気」、「土壌」で発現した NI は、同社の事業と直接関係ないため評価対象外とした。

## 川下の事業

### (i) 「住居」・「資源効率・安全性」

- 同社のオリジナル商品である「フラッシュドア」や、「ソリッドフロー」は、高品質で防犯性にも優れているだけでなく、自由自在なデザインが可能であるため、住環境の安全性や快適性の向上に繋がり、PI 拡大に寄与している。
- また、「ソリッドフロー」は、外出時にも室内の換気が可能となり、省エネ効果に繋がるため NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。  
7.3 : 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる  
11.1 : 適切、安全かつ安価な住宅及び基本サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する

### (ii) 「廃棄物」

- 同社のオリジナル商品である「ソリッドフロー」は、メッシュ部に線径 0.8 mmの強度なステンレスワイヤーを使用しており、網戸の張替えが不要であるため、NI 縮小に寄与している
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。  
12.5 : 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

### (iii) 「包括的で健全な経済」

- 同社のアルミ建材の安定供給は、建築サプライチェーンの安定化につながり、PI 拡大に寄与する。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。  
9.1 : 経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する

### (iv) 評価対象外のカテゴリ

- 「健康衛生」、「エネルギー」、「経済収束」で発現した PI、「文化伝統」、「人格と人の安全保障」、「水（質）」、「大気」、「土壌」、「生物多様性と生態系サービス」で発現した NI は、同社の事業と直接関係ないため評価対象外とした

#### (4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

### 環境（Environment）

#### 温室効果ガス排出量の削減

- 同社は、カーボンニュートラルの実現に向け、新工場に太陽光パネルの設置、省エネ設備の導入などに取り組んでいく予定である。また、CO2 排出量の算定を検討している。LED 照明や社用車のハイブリッド車への切り替えは済んでおり、今後上記のように設備導入を進め、温室効果ガス削減に取り組んでいく予定である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「気候」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

7.3 : 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる

13.3 : 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

#### 廃棄物の削減

- 同社は、製造過程において発生するアルミくずや、リフォームやリニューアルの建設工事で回収するアルミ材のリサイクルは積極的に行っており、今後も廃棄物削減に加え、資源の再利用にも組んでいく方針である。
- また、IT 機器の積極的な導入によりペーパーレス化を今後検討しており、紙使用量の削減に努めていく予定。
- このインパクトは「資源効率・安全性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

12.5 : 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

### 社会（Social）

#### 高品質な製品提供による建築業界への貢献

- 同社は建物に必要なサッシやドアを供給することで、建築のサプライチェーンを支えている。同社は、同業他社と比較して、設計・製造から販売・施工まで一貫して行えることが強みである。今後は、エリア拡大により、高品質・高性能かつ自由なデザインが可能な「フラッシュドア」の販売比率を高めていく方針であり、住環境の向上に貢献する。
- また、同社の加工技術を活かし、オーダーメイドのドアやサッシの売上比率を伸ばしていくことで、顧客の細かいニーズに応えた製品供給を増やしていく方針である。
- このインパクトは「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

9.1 : 経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する

#### 「ソリッドフロー」の販路拡大による社会環境の安全性への貢献

- 同社のオリジナル製品である「ソリッドフロー」は、環境面（省エネ）や社会面（防犯）の効果が大きいため、今後は販売先（工務店等）を増やすべく、営業人員を増やしていく方針である
- このインパクトは「住居」・「気候」のカテゴリに該当し、環境面の PI、および社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 7.3 : 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる
  - 11.1 : 適切、安全かつ安価な住宅及び基本サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する
  - 13.3 : 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

#### 働きやすい職場環境の提供

- 同社は、事業拡大に向けて、外国人や女性の採用を増やしていく方針であるため、働きやすい環境を整備していく。既にリモートワークの対応や、外国人労働者のサポートを行っているが、今後は、女性管理者の育成や、女性営業担当の採用を検討していく。
- このインパクトは「教育」「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 4.4 : 技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
  - 5.5 : あらゆるレベルにおいて女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する
  - 8.5 : 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
  - 8.8 : すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

#### 従業員の育成

- 同社は、熟練工から技術継承を行うため、セクション毎にリーダーを選定し、期間を設けて計画的な育成を行っている。
- また、「2 級施工管理士」の資格取得を推奨しており、研修等への参加を促している。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
  - 8.6 : 就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす



## 企業統治 (Governance)

### 安心・安全な職場環境の提供

- 同社は、定期的にハラスメント防止研修や、交通安全運転講習を定期的に行っており、重大な労働事故防止に取り組んでいる。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8 : すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

### (5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対するSDGsは、「4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」、「7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、「8. すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する」、「9. レジリエントなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「11. 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内におけるSDGsダッシュボードでは、「5、12、13」において、大きな課題が残る、「7、8、11」において、課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



②愛知県におけるインパクトニーズ

- 同社は、売上げの大半が愛知県であることから、愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

愛知県 SDGs 未来都市計画 – SDGs の推進に資する取組（抜粋） –
<p>○<u>中小企業の持続的発展に向けた支援</u></p> <p>「100 年に一度の変革期」に直面している自動車関連の中小企業や、デジタル化の進展により大きく変化する産業構造の中にある中小企業が持続的に発展していくため、新事業展開やデジタル技術活用の支援を行う。</p>
<p>○<u>若者・女性・外国人の活躍促進</u></p> <p>若者が社会で活躍できるよう、企業における若者の就労や職場定着の取組を支援する。経営者の意識改革やワーク・ライフ・バランスの推進、保育サービスの充実、女性の起業や再就職支援など、働く場における女性の活躍を促進する。</p>
<p>○<u>「あいち地球温暖化防止戦略 2030」の推進</u></p> <p>地球温暖化防止に関する取組を総合的かつ計画的に推進する。</p>

③大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。




同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）
<p>温室効果ガス排出量の削減 廃棄物の削減</p>	<p>気候変動対応、環境保全</p>
<p>高品質な製品提供による建築業界への貢献 「ソリッドフロー」の販路拡大による社会環境の安全性への貢献</p>	<p>地域経済の持続的成長</p>
<p>働きやすい職場環境の提供 従業員の育成 安心・安全な職場環境の提供</p>	<p>多様な人材の活躍推進</p>

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。


### 3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。




#### 温室効果ガス排出量の削減および廃棄物の削減

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「資源効率・安全性」「廃棄物」「気候」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣地に工場を増設し、作業効率を改善し無駄を排除する。</li> <li>・カーボンニュートラルの対応を開始し、削減策を実行していくことで自社のみならずお客様の環境的側面に貢献していく</li> <li>・廃棄物を削減していくとともにリサイクルを追求、またペーパーレス化を推進していくことで有限である資源の保護や環境経営を推進していく</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年度までに温室効果ガス排出量の算定を開始し、削減目標を設定、削減に向けた取り組みを開始する</li> <li>・2024 年度までに新工場の屋根上に太陽光パネルを設置する</li> <li>・同社の製造およびリフォーム等工程で廃棄物として発生するアルミを全量リサイクルすることを継続する</li> <li>・ペーパーレス化を推進し、紙使用量を 2024 年度以降毎年 3%削減（対前年比）する</li> </ul>

### 高品質な製品提供による建築業界への貢献

項目	内容
インパクトの種類	経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同社の独自性かつ強みである加工技術を、営業拡大により施工件数を増加させることで高品質な建物の普及に繋げ、建築業界に貢献していく</li> <li>・販売先増加による幅広い顧客層への営業力強化の推進</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2029 年度までに同社の加工技術を活かせるフロントサッシ・アルミ加工にかかる売上構成比を 20%にする（2023 年度 15%）</li> <li>・2025 年度までに新規大手販売先を 1 件開拓する</li> </ul>

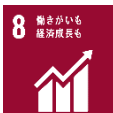
### 「ソリッドフロー」の販路拡大による社会環境の安全性への貢献

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において PI を拡大 社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「住居」「気候」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナル商品である「ソリッドフロー」(※) の展開拡大により、お客様の環境面（省エネ効果）および社会面（防犯効果）へ貢献していく</li> <li>※換気性能による省エネ効果、施工可能で強度が高いことによる防犯効果を有する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026 年度までに「ソリッドフロー」にかかる年間売上高を 1 億円にする（2023 年度 4 千万円）</li> </ul>

**働きやすい職場環境の提供（健康経営・ダイバーシティ）および従業員の育成**

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「教育」「雇用」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営を推進していくことでワーク・ライフ・バランスの推進をしていく</li> <li>ダイバーシティ経営推進による誰もが働きやすい環境整備の実施</li> <li>OJT のみならず資格取得推進による従業員の技術向上、また組織全体での向上に向けた取り組み開始</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025 年度中に健康経営優良法人認定を取得し、以降毎年取得する</li> <li>特定保健指導対象者への会社補助継続による社員の健康増進支援の継続</li> <li>技能実習生（特定含む）外国人雇用率を今後も維持していく（現状 26%）</li> <li>2027 年度までに女性雇用率を 30%まで増加する（現状 21%）</li> <li>2025 年度までに現場担当者全員が 2 級建築施工管理技士を取得する（現状 67%）</li> </ul>

**安心・安全な職場環境の提供**

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	コンプライアンスの徹底や社員の安全面を考慮した職場環境の提供
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>重大な労働災害ゼロの継続</li> <li>全従業員向けにコンプライアンス研修継続による組織体制強化の継続</li> <li>安全運転講習の継続実施による社員の法令順守に対する意識づけを継続</li> </ul>

#### 4. モニタリング

##### (1) 株式会社長尾木鋼におけるインパクトの管理体制

- 同社では、長尾社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- 今後については、統括責任者および管理責任者を長尾社長とし、SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

##### (2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

**【留意事項】**

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行と OKB 総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、および OKB 総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行および OKB 総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は OKB 総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。